

施工に関する説明 編

- 1 取り付け道具、設置条件の確認 (00:10～)
- 2 ノズルの取り付け (00:35～)
- 3 タンクケースの取り付け (01:10～)
- 4 ノズルとタンクケースの接続 (02:05～)



本コンテンツは、サラヤ株式会社・東京サラヤ株式会社ならびに関係会社における教育ツールの一環として制作されたものであり、許可の無い使用および転載、その他一切の権利を侵害する行為を禁止します。

はじめに

この動画取説は、設置方法や使用方法を携帯機器でも確認できるように、説明書の一部をご説明しています。

安全上のご注意など、製品に関する注意事項や詳細については製品に付属の説明書に記載していますので、必ずご確認ください。

SD-3100FD

1

取り付け道具、設置条件の確認

取り付けに必要な道具

- 電動ドリル
- プラスドライバー
- プライヤー
- 水平器
- ドリル刃 (φ6、φ2.5)
- 大型プラスドライバー
- モンキレンチ (呼び375)
- メジャー、ものさしなど

道具を確認し、用意してください。

取り付ける壁面、場所の条件

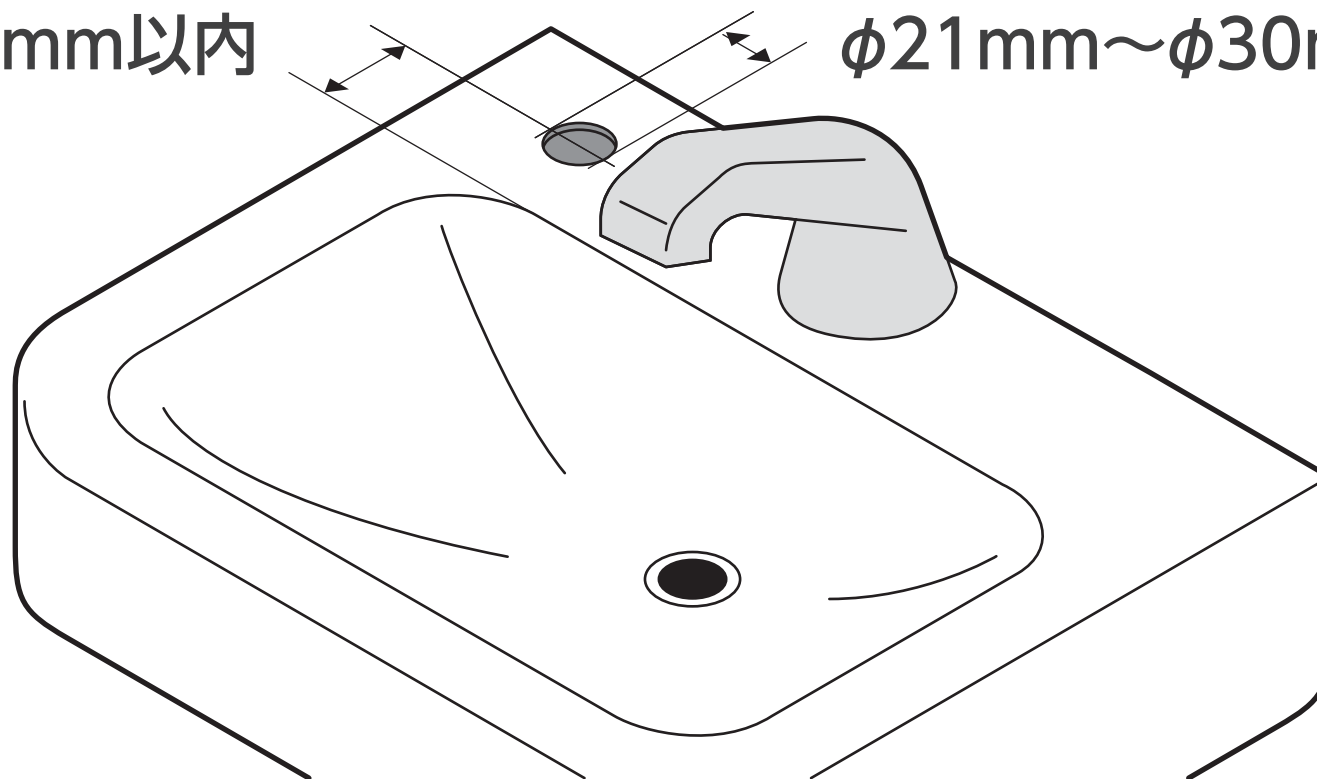
- 丈夫な壁面であること。
- 凹凸のない壁面であること。
- 穴をあける場所に配管・配線が通っていないこと。
- 使用の妨げにならない十分なスペースがあること。
- 長さ約1.8mの電源コードが届き、なおかつ
水のかからない位置に電源コンセントがあること。

設置上の不備は、落下によるケガや故障の原因になるので、必ず確認してください。

取り付けるシンクの条件

フチから穴の中心まで
50mm以内

穴の直径は
 $\phi 21\text{mm} \sim \phi 30\text{mm}$ まで



50mm以上離れると、吐出される薬液がシンクの天面に垂れる可能性があります

SD-3100FD

2

ノズルの取り付け



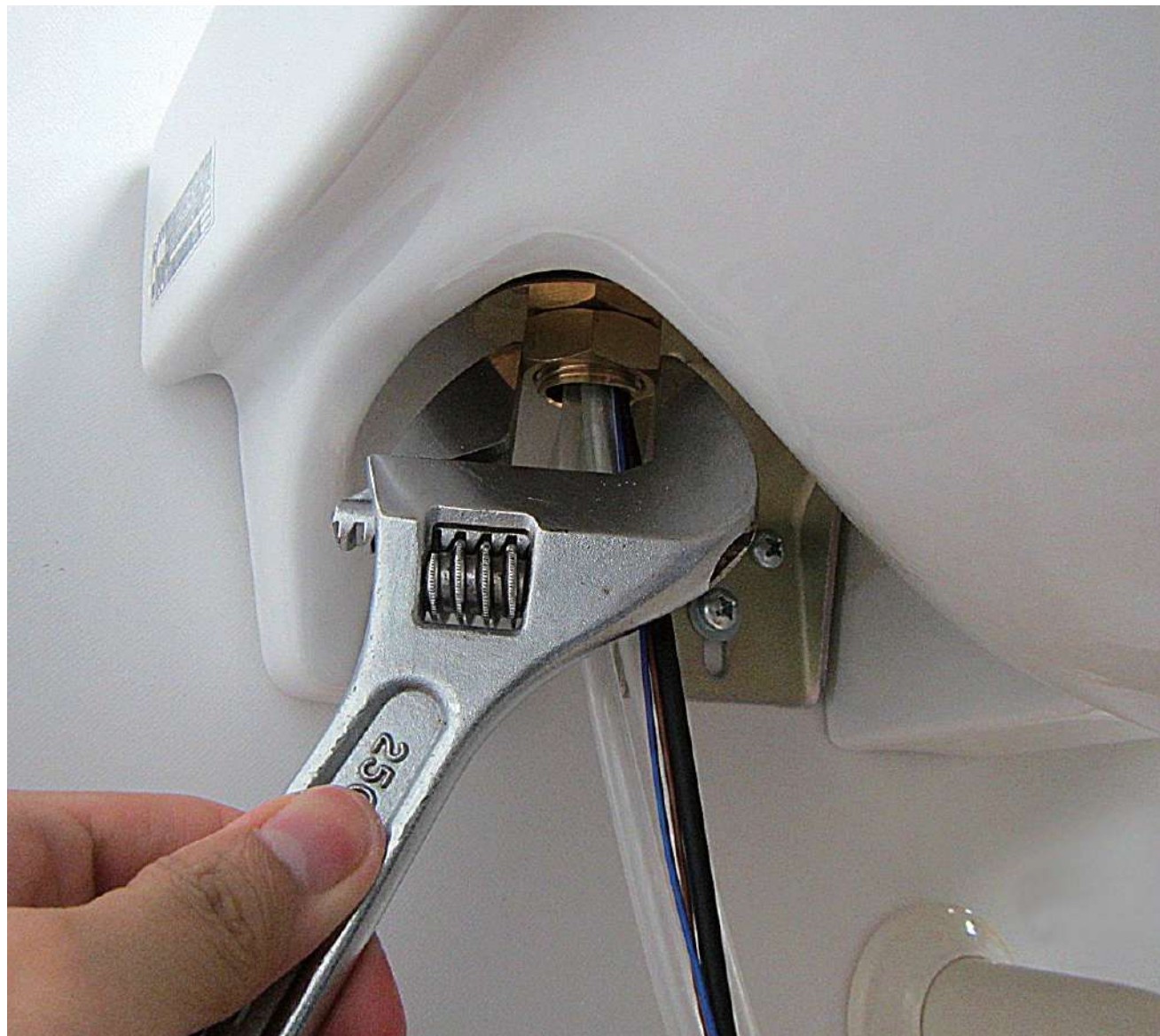
取付穴に「チューブ」と「手指センサーハーネス」を通し、



「ボルト部分」を差し込みます。



シンク裏から「パッキン」と「座金」を通し、

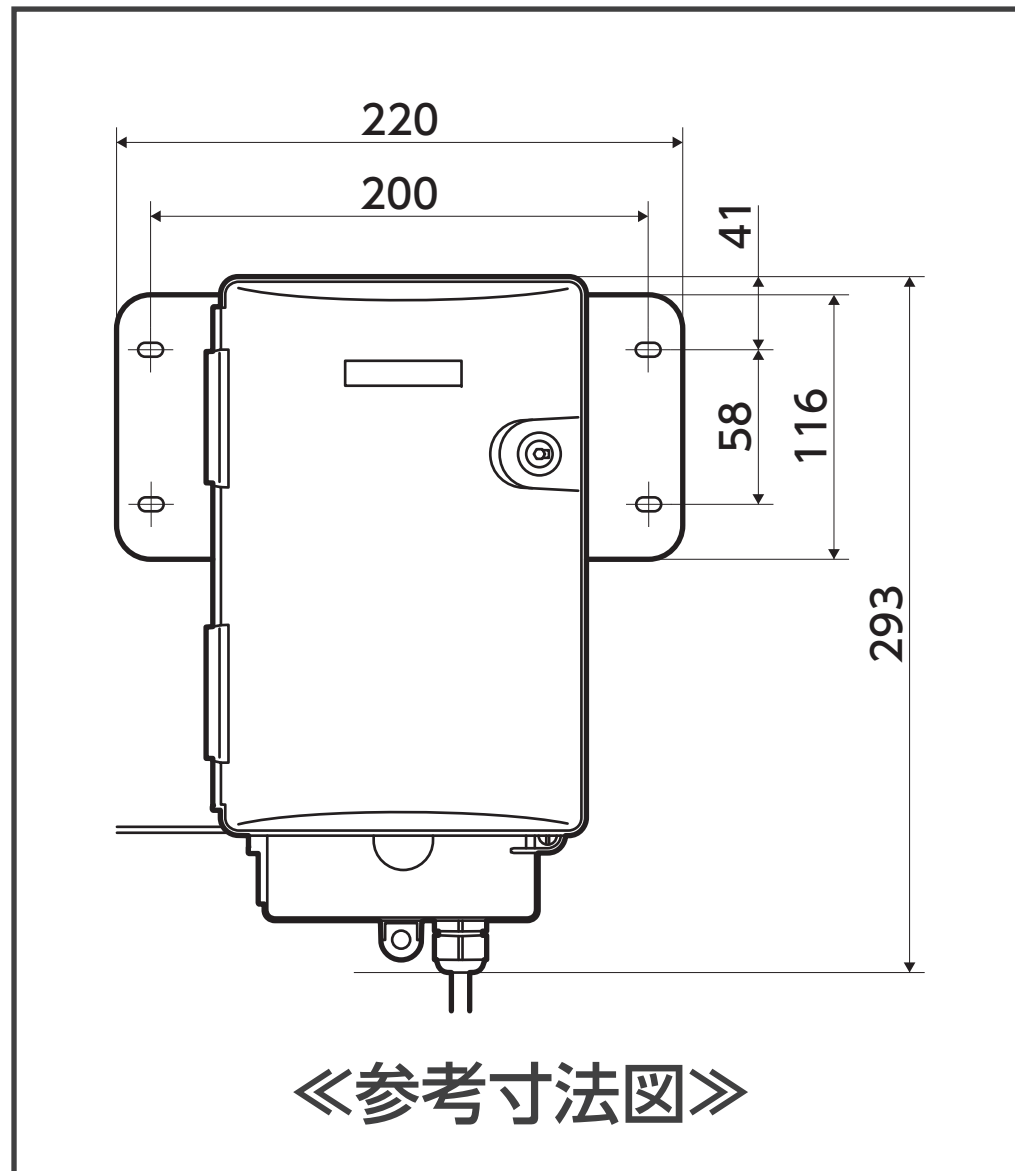


「ナット」で固定します。

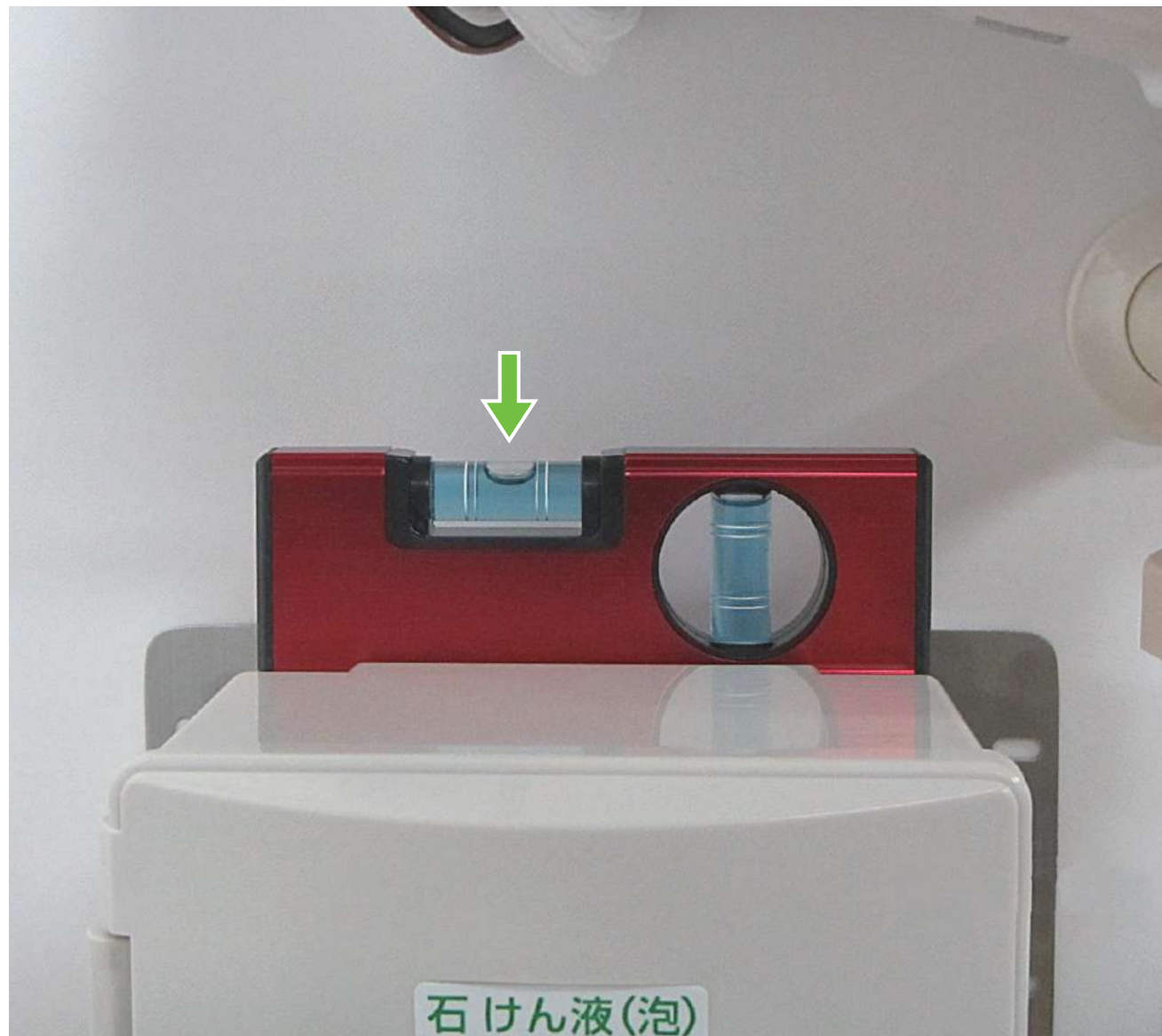
SD-3100FD

3

タンクケースの取り付け



取り付けたい位置に製品をあてがい、取り付けに差し支えないことを確認し、



位置が決まったら、水平器で水平を確認します。



水平が確認できたら、穴をあける位置に印を付けます。



切り粉が落ちるので、受けを用意すると掃除が楽になります。

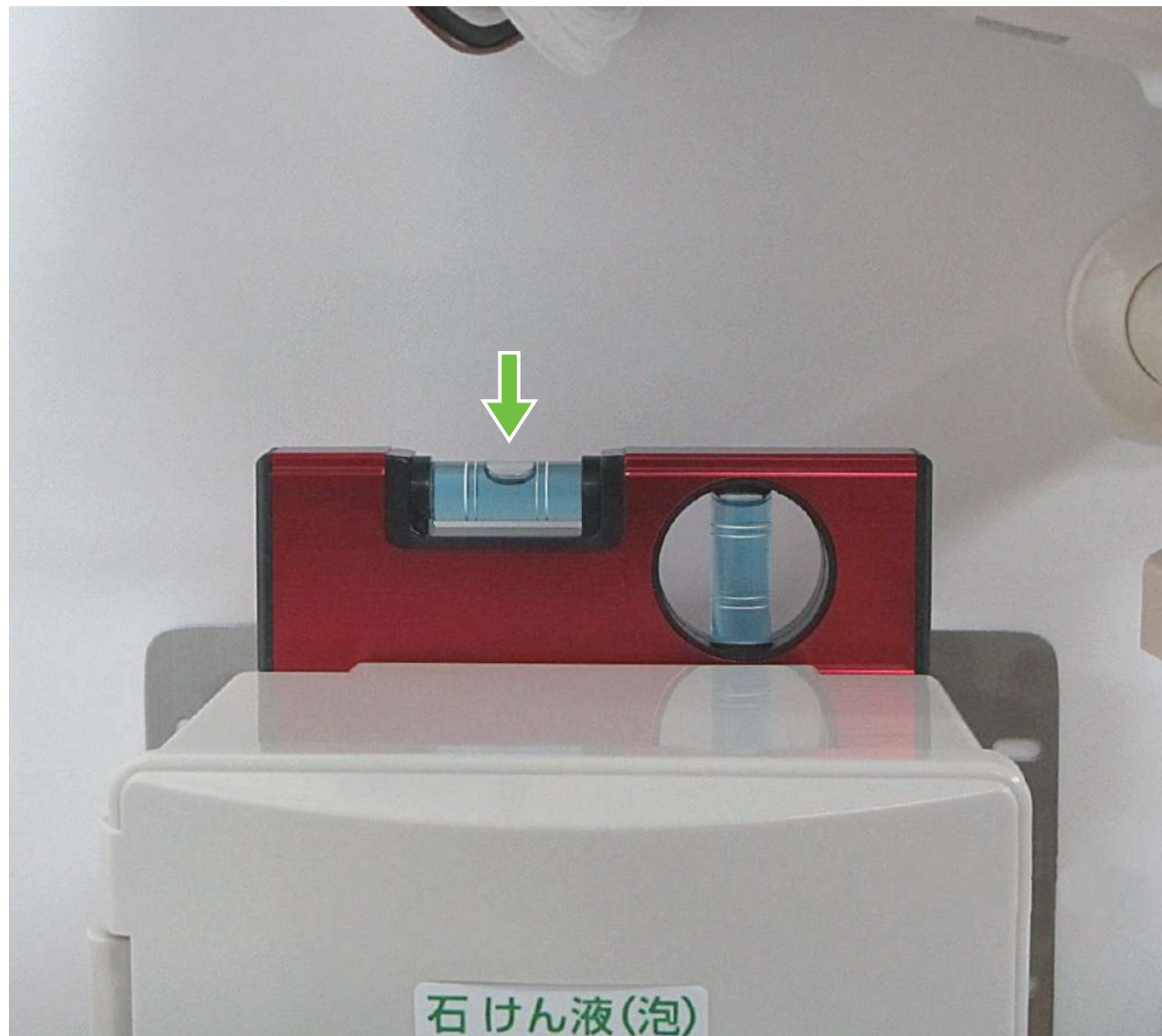


電気ドリルで穴をあけます。

※壁がコンクリートの場合のみ、プラグを打ち込みます。



タッピンねじで固定します。



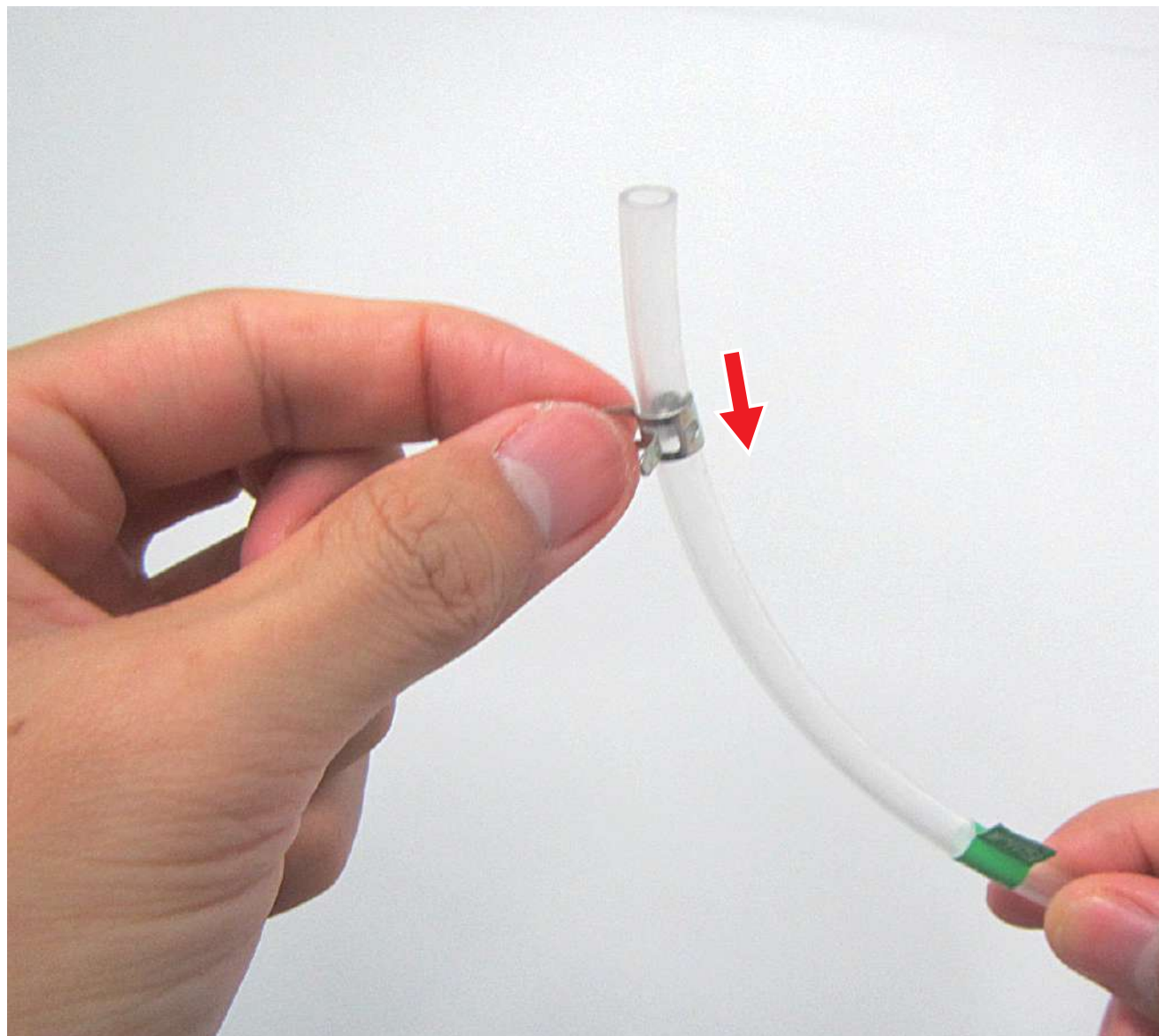
水平を確認します。

※水平でない場合は、ねじを少しゆるめて調整し直してください。

SD-3100FD

4

ノズルとタンクケースの接続



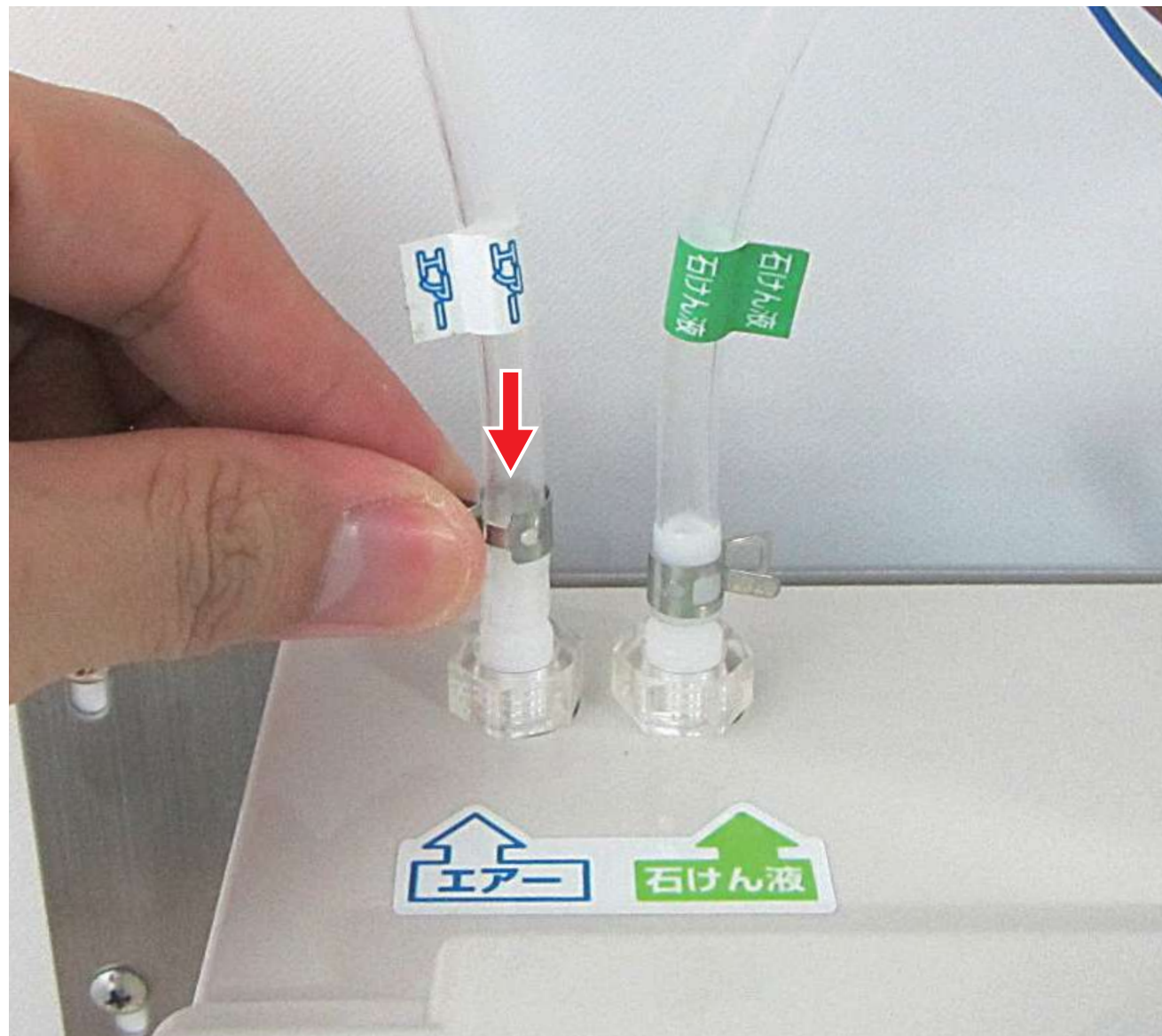
2本のチューブにクランプを通します。



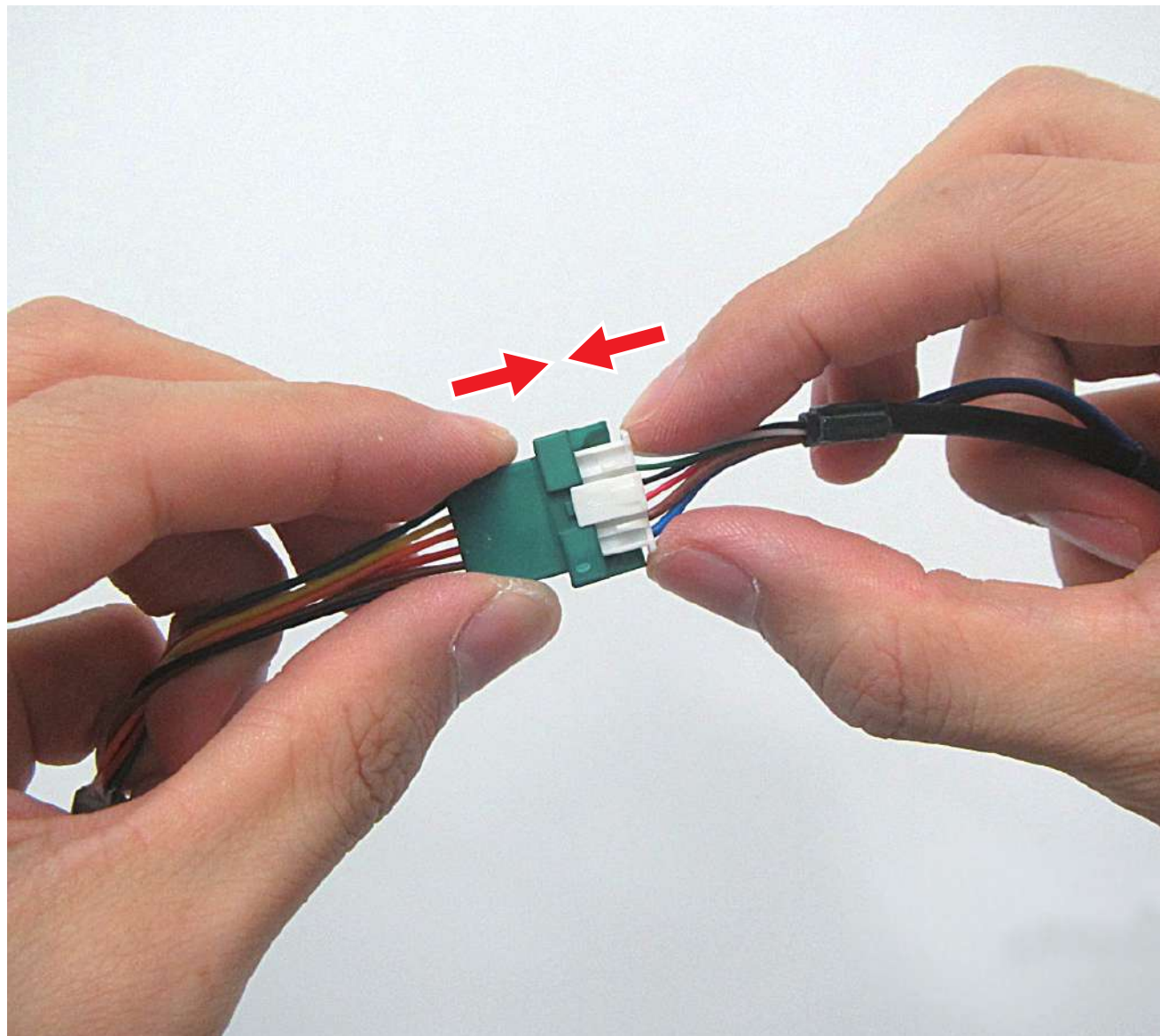
《接続時の注意》

- 異物の混入がないこと。
- 折れないよう適切な長さに切って接続すること。
- 直角に切断すること。
- 切断面が変形していないこと。
- キズなどがいないこと。

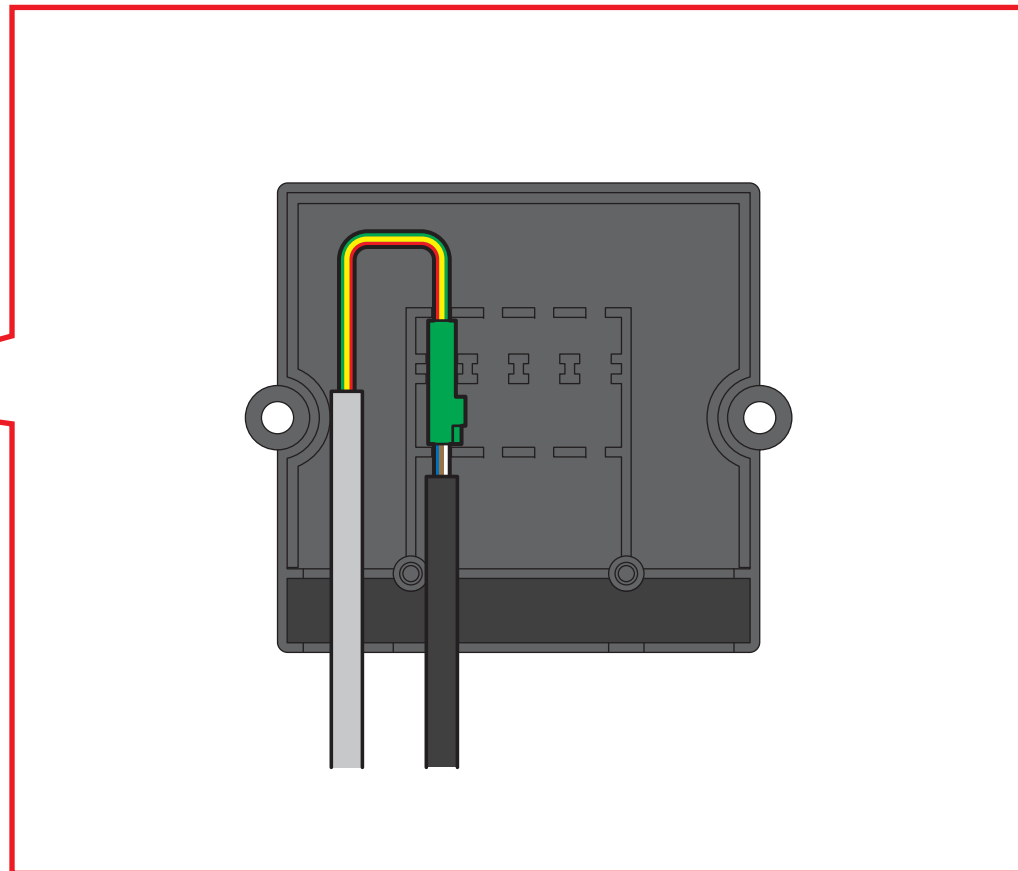
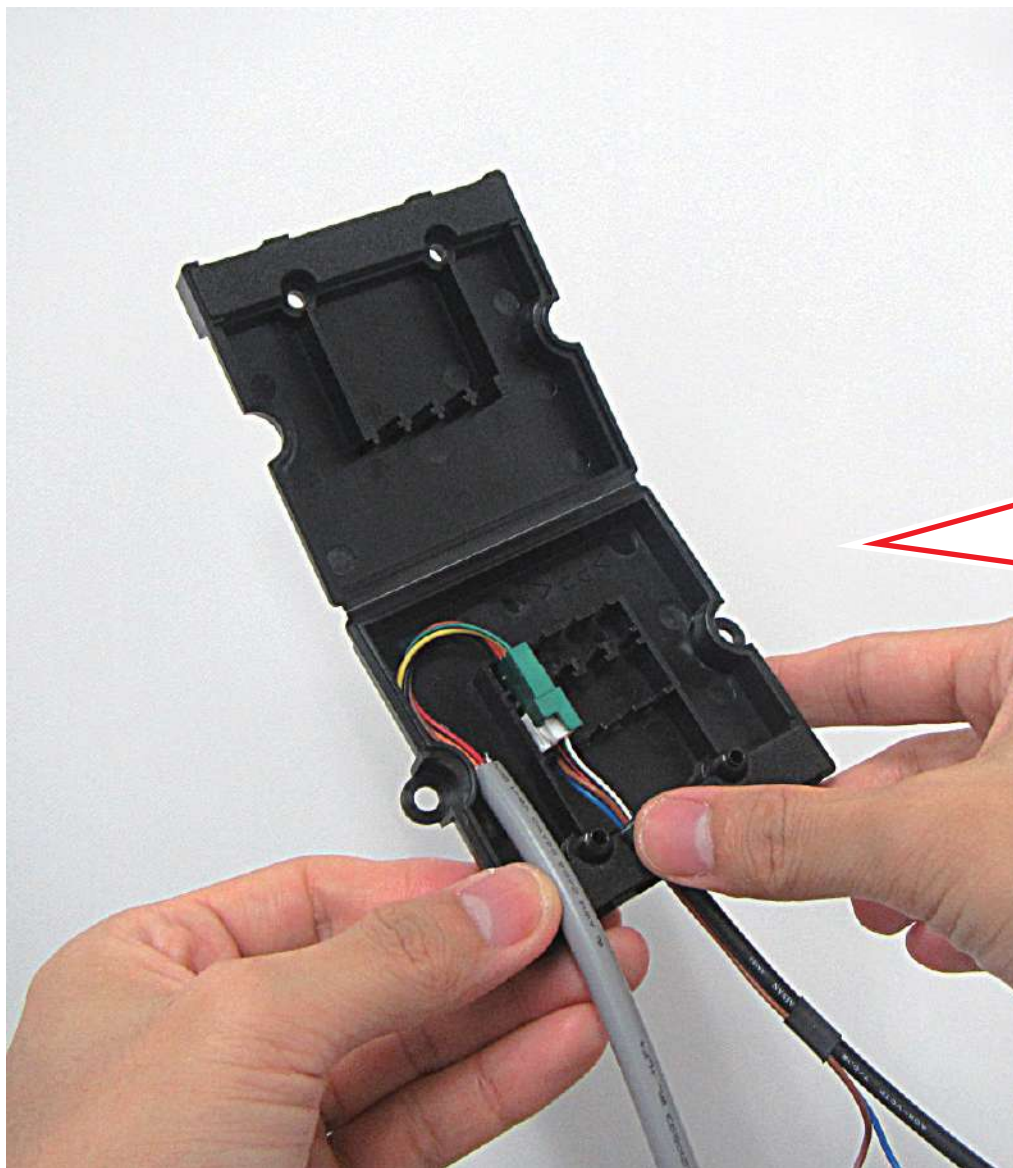
「石けん液」のチューブを「石けん液」の継手に、
「エア」のチューブを「エア」の継手に接続します。



クランプで固定します。



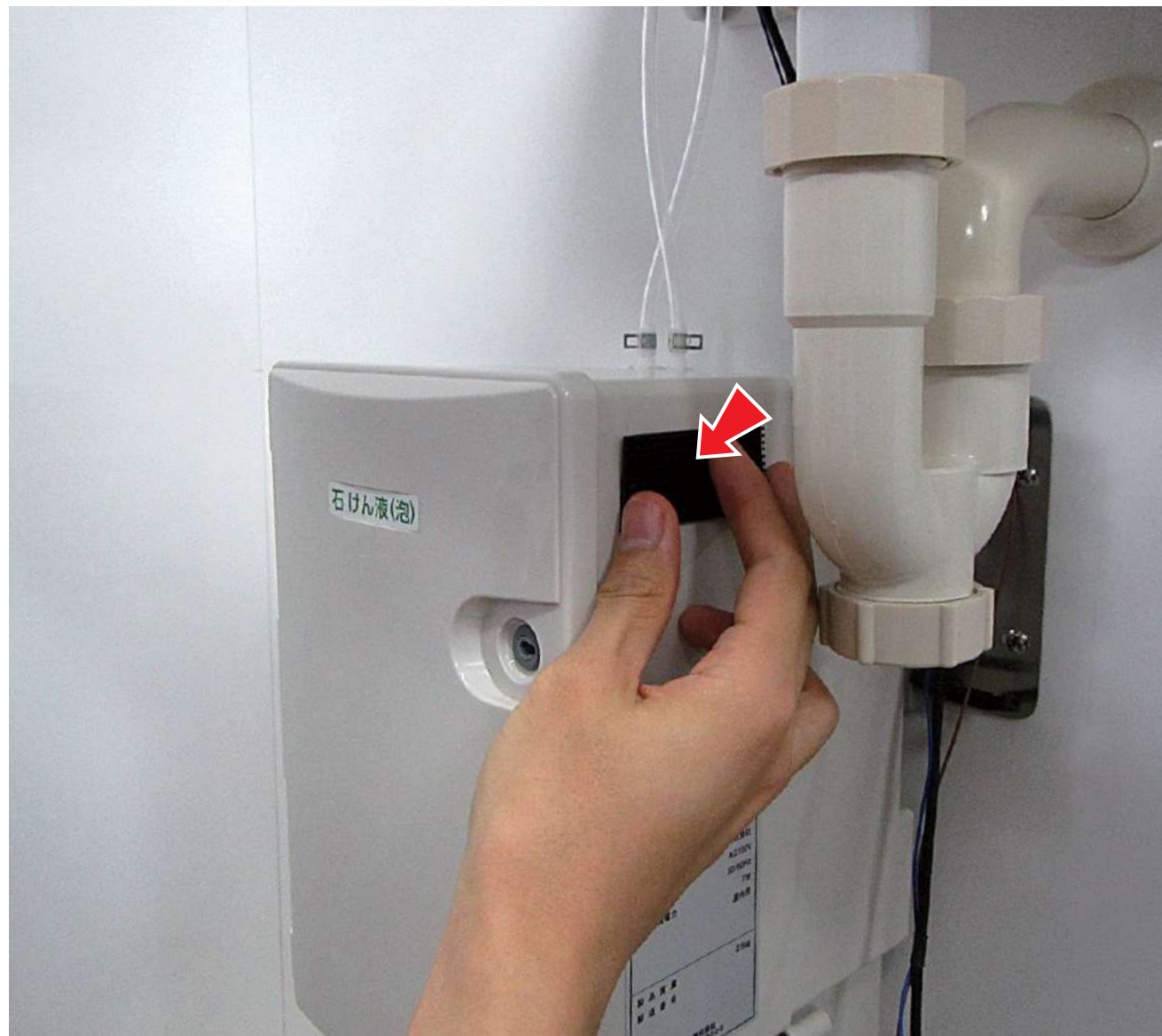
コネクタ同士を接続し、



コネクタケースに収納します。



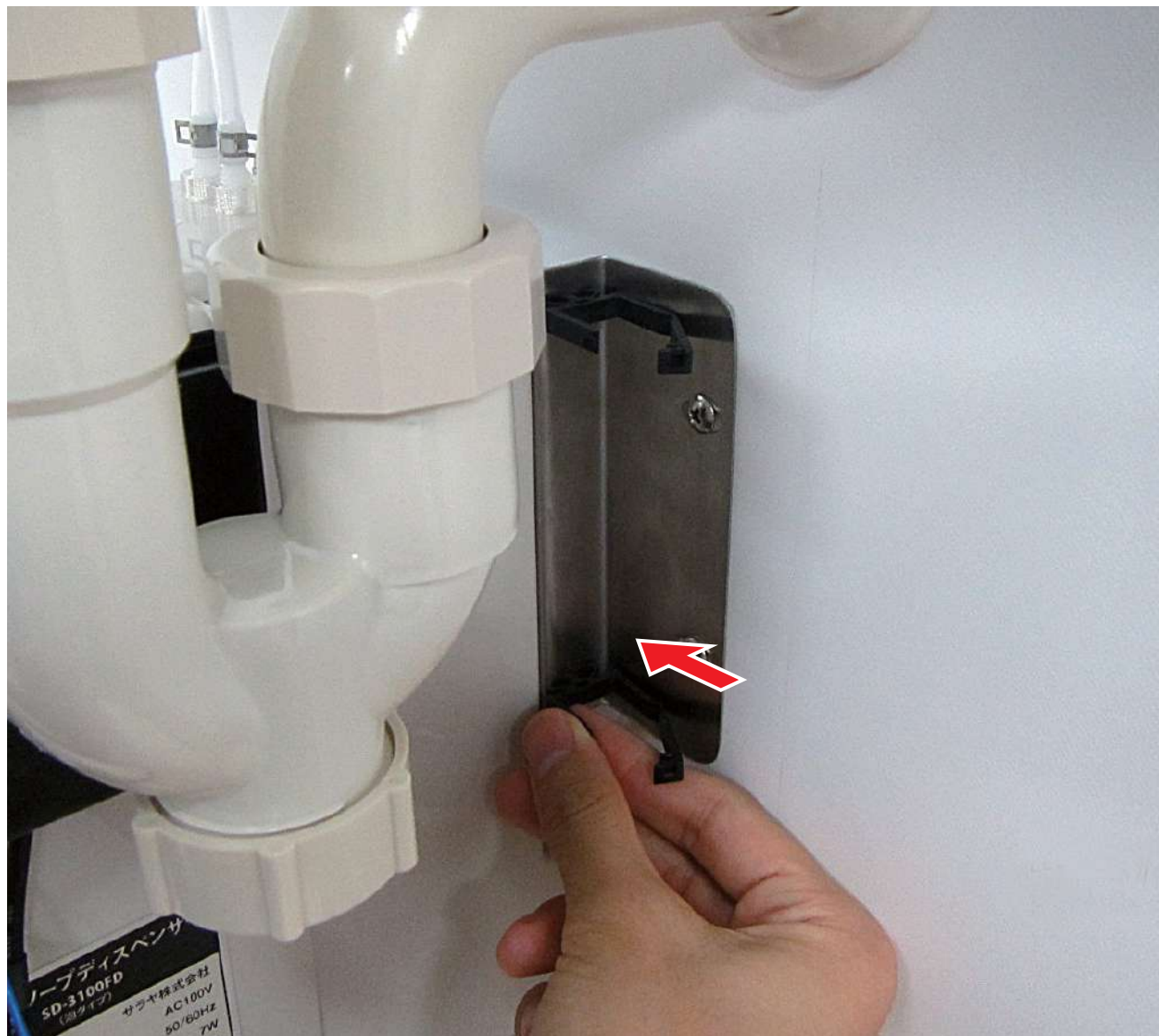
ケースを閉じ、十字穴付タッピンねじで固定します。



平面で水のかからない場所にファスナーを貼り付け、



ファスナーにケースを取り付けます。
※ハーネスは下向きに取り付けてください。



クランプ(配線用)を取り付け、



配線を固定します。

※コイルチューブは必要に応じて使用してください。

Completed !

以上で取り付け作業は完了です。
作業スペースを清掃し、忘れ物に注意しましょう。